

始まりの季節 市民の力を集めよう！

四月です。厳しい寒さの中、じつと力を蓄えて芽吹く木々のように、市民ネットも過去8年の活動の成果を、昨年の市議選で3人の代理人選出として芽吹かせることができました。自分たちのまちを自分たちで良くしていきたい市民の声を集めて、一緒に活動していくところが市民ネットワークであり、その声を議会へ届けるのが代理人です。

これまで市民ネットは、学校図書館司書補助員の全小学校配置、レジ袋無料配布中止協定、議会本会議のインターネット中継などを実現してきました。

市民ネットでは、日々の暮らしの中で気になることをテーマとして取り上げ、部会を設け活動しています。各部会で独自のアンケート調査や視察、話し合いを重ね、市に政策提案をするだけでなく、

同時に自分たちで実践してきます。例えばゴミ問題や放射能対策、公共交通問題は、困っているのにどうしたら改善できるのかわからない身近な問題ですが、市民一人一人の声が集まって、一緒に話し合いながら取り組み、制度作りや政策提案に繋がっています。

一人ではできないけれど、力を合わせれば変えられることがあります。一つでもとりあげてみたいテーマがあったら、ぜひ聞かせて下さい。一緒に声を上げて考えましょう。始まりの季節に、市民ネットの部会活動に参加してみてください。

あなたも参加してみませんか？

市民ネットの部会活動



議員と一緒に

話そう！会

議会の報告、身近な問題について話し合います。どなたでもお気軽にお越しください。

5月7日(火)10~12時 荃崎交流センター
5月9日(木)10~12時 春日交流センター
5月10日(金)13~15時 二の宮交流センター

※ この他、ご希望の日時・場所で開催できます。お気軽に事務所までお申し込みください。



市長の政治姿勢を問う～会派代表質問



つくば市議会議員
総務常任委員会副委員長
北口ひとみ

つくば市議会では、3人以上で正式な会派として認められています。つくば・市民ネットワークは、代理人（議員）が2人から3人に増えたので、今議会から会派代表質問を行いました。

市長の所信の公表から2週間足らずの間に質問を絞り込むのはハードでしたが、**市長から必ず答弁がある会派代表質問は、政治姿勢を真っ向から問えるチャンス。**これまで2期8年代理人を勤めた瀬戸・永井の経験や部会活動で見えてきた課題も含め、10政策について質問と提案をしました。

学校を拠点に 地域防災力強化

大地震が予測される中、文科省・県の方針もあり、H26年度100%を目標に全ての小中学校に「学校防災連絡会議」を設置し、学区を中心に地域防災体制づく

会派代表質問した10の政策

- ・災害に強い地域づくり
- ・つくば国際戦略総合特区の推進
- ・筑波研究学園都市50周年
- ・住んでみたいまち、住み続けたまち
- ・暮らしやすさを実感できる地域づくり
- ・教育日本一への取組
- ・安全・安心な地域づくり
- ・農業振興（農業基本計画）
- ・環境・地球温暖化対策の推進
- ・活力ある自立都市の形成（総合計画）

りが進められていますが、市民への周知は不十分です。また、社協による地域防災訓練も今年度からなくなる予定で、**より着実に学校を拠点とした防災力強化を進めるよう要望**しました。

五十周年記念に 「ノーベル賞の森」?!

筑波研究学園都市建設の閣議決定から五十周年の記念事業が4千4百万円で予算化されています。この9割にあたる4千万円は、つくばゆかりの受賞者4名の記念像を中央公園に設置する「ノーベル賞の森」の予算との説明でした。

しかし、これが五十周年の記念として最適なのか、疑問の声も多く、**再検討を求めました。**

総合計画は市民の手で!

H26年以降の総合計画づくり

不透明な指定管理者選定方法

指定管理者制度は、公の施設を民間事業者・団体等に管理運営させるもので、民間のノウハウを活かして公共サービスの質を高めるとともに管理費用の節減もなっています。つくば市ではふれあいプラザ、ウェルネスパークや公園、駐車場等を指定管理していますが、その選定方法には、検討会議の委員構成（委員8人中、市役所内部のメンバーが5人で過半数）、議事録、採点方法等、透明性・公正性に問題が多い状況です。

12月議会に出たウェルネスパークの指定管理者選定の議案では、検討会議の議事録や採点表を追加資料として請求しました。ところが、議事録はあまりにも簡単で検討経過が見えないうえ、同点1位となった2事業者による再選定では、1位をつけた委員の点数だけを合計して比較したため、8人全委員の合計点では一番低い事業者が選ばれるというおかしな結果になりました。なぜこんな方法で選ぶのか、納得できる説明は全くありませんでした。

市民にきちんと説明できる公平・公正な選定方法に見直すよう、ひき続き求めていきます。

が始まります。

総合計画は、まちづくりの最

上位計画として地方自治法で策

定が義務づけられていました。

しかし、H23年に地域主権時代

に対応するという目的で、法改

正が行われ、それぞれの自治体

が地域の状況に即して判断する

ことになりました。従って、計

画の実効性を高めるために、策

定過程や位置づけを明確に条例

で定める必要があると考えます。

この条例化について質問しま

したが答弁はありませんでした。

現在、市のあらゆる計画はコ

ンサルタント頼みで、地域課題

や市民の意見を反映していると

は言い難い状況です。まちづく

りは市民の総意で進められ、計

画づくりにも市民参加が積極的

に取り入れられてこそ、地域に

あったものになります。せめて

総合計画だけは市民・職員の手

でーと提案しました。

市民・職員総参加で総合計画

をつくるーこれこそが筑波研究

学園都市建設から五十年のつく

ばの成果として記念にもなるの

ではないでしょうか。

今回得た答弁をもとに市政を

検証し、更なる改善へ向け提案

をしていきます。



市民の声で条例違反を改善(農地埋め立て工事)



つくば市議会議員
文教福祉常任委員
宇野 信子

一般質問項目

- ・手代木中学校耐震工事のやり直し
- ・農地埋め立て工事
- ・指定管理者制度運用の課題と見直し

市民の方から「田んぼに大量の土砂が盛られ、一部が水路をふさいでいる。柵も無く、標識も出ていない。産業廃棄物が搬入されているのではないか？」と心配する声が寄せられました。現場を確認したところ、**条例で規定された標識がないまま工事が行われており、その他にも不審な点があったため、一般質問で取り上げました。**

「埋め立て工事開始前に標識の写真を添えた着手届の提出が義務付けられているが、着手届を出さずに工事をしているのではないか？条例違反にどう対応しているか？」との質問に対し、担当部長より「着手届を受理せずに工事が進められていた。条例規則に沿った指導を怠り、不適切な事務執行が行われていたことが判明した。深く反省し、関係職員の処分も含めて厳正に対処する」との答弁でした。産業廃棄物については、「監視員を3日間常駐させて監視し、違法なものは含まれていないことを確認した」とのことです。今後、**産業廃棄物の搬入が市民から通報された場合は「県の所管だが、市としても市民の不安を払しょくするため情報収集に努め、県と緊密な連携を図る」との答弁を得ました。**

また、不適切な事務執行は組織全体の問題では、と追及したところ、「体制強化を図り、条例遵守の徹底と再発防止のための指導マニュアルの整備を図っていききたい」と再発防止の徹底を約束しました。

今回は**市民の気付きが条例違反の改善に繋がりました。**これからも市民の声を活かし、安心して暮らせる環境を作っていきたいと思えます。

高齢福祉 相談窓口をもっと身近に!



つくば市議会議員
環境経済常任委員
皆川 幸枝

一般質問項目

- ・稲岡大型ショッピングセンター開店に伴う通学路の安全確保
- ・一般高齢者の生活支援
- ・つくば市男女共同参画推進

「高齢福祉はどうなっているの?」「これからの心配」という、高齢者からの声が市民ネットワークに寄せられています。そこで今回は、要支援・要介護認定前の65歳以上の元気な『一般高齢者』の福祉について質問しました。

現在、つくば市は庁舎内に「地域包括支援センター」1か所、さらに老人保健施設や病院などの民間施設に委託して、市内10か所に「在宅介護支援センター」を設置し、高齢者の支援・相談業務にあたっています。しかし、元気な高齢者にとって「在宅介護支援センター」は身近なものではありません。気軽に相談できる窓口として、**地域交流センター(旧公民館)の活用を提案**しました。

また、「地域包括支援センター」は、各地域の自治会や社協

＜在宅介護支援センター＞

- 老健 アレーテルつくば
 - 老健 豊浦
 - 老健 つくばリハビリテーションセンター
 - 老健 そよかぜ
 - 特養 美健荘
 - 特養 新つくばホーム
 - 特養 つくばの杜
 - 特養 くきの里
 - 医法 筑波記念病院
 - 医法 筑波病院
- ※老健…老人保健施設
※特養…特別養護老人ホーム
※医法…医療法人



・民生委員・シルバークラブ・ボランティア・医療機関などをネットワーク化する「地域ケア会議」の開催という機能も持っています。現状では開催回数がまだ少なく、地域も限られています。高齢者をとりまく関係者が情報共有することが、課題の解決や高齢者の生きがい創出にもつながります。「地域ケア会議」を各地域で回数を増やして開催していくよう要望しました。

傍聴席から

議会最終日は提案された議案の可否を多数決で決めます。多くの議案が行政側からの提案通りに異議無く可決されますが、中には反対する議員から意見が述べられ、起立によって多数決を採ることもあります。

反対議員から発言があるときは、必ず賛成議員からも発言があります。議長から指名されているところを見ると、議会で発言するときは、事前に申告する必要があるようです。ということは、どの議案に誰が反対するかわからないはずなのに、反対する議員がいるときだけは、必ず賛成する議員の誰かが発言する旨を事前に申告しているということですね。これって、議員同士で打ち合わせができていないのでしょうか？

打ち合わせているにしては内容が噛み合っていないし、賛成する議員の中には原稿をただ読み上げるような人もいて、ぜひ発言したいと申告したようにも見えず不思議な気がしました。

また、多数決を採るときも、ほんの少し腰を浮かすだけの議員もいて、賛成なのか反対なのかかわからないこともあります。自分が選挙で投票した議員が、どんな議案に賛成したのか反対したのか、市民はみんな知りたいと思います。意思表示を押しボタンにして、インターネット中継で公表してほしいです。(A. N)

つくば・市民ネットワークの主な活動報告

- 1/17 つくば市民生委員推薦会出席(宇野)
- 1/19、3/23 市政地区別懇談会参加
- 1/25 「障害者も地域生活をめざして」参加
- 1/26 「原発事故子ども・被災者支援法」学習会参加
市民白書学習会(財政問題、TX 沿線開発問題)参加
- 1/30 「孤立死をさせないために
～地域のつながりを見直す～」参加
- 2/ 2 「食品の汚染状況と健康影響をどう考えるか」参加
- 2/ 3、4、5 議員と話そう会開催
- 2/ 5 男女共同参画審議会出席(皆川)
- 2/ 9 「アレルギーと学校給食～調布の学校給食事故から考える～」参加
- 2/16 筑波東中学校区小中一貫校に関する意見交換会 参加
- 2/22～3/18 3月定例市議会(北口、宇野、皆川)
- 2/23 「障害者差別禁止法をめぐる動向と条例化の意義について」参加
- 2/24 食と農の再生をめざして!学習会&交流会開催
- 3/ 1 公共交通活性化協議会 傍聴
- 3/12 神田香織公演「チェルノブイリの祈り」
「はだしのゲン」協賛
- 3/17 「市民と議員の条例づくり交流会議」参加
- 3/23 街頭議会報告



※自治基本条例を考える市民の会、放射能汚染から子どもを守ろう@つくば、脱原発ネットワーク茨城の定例会へも参加しています。

※また、テーマごとの部会活動の他、委員会・審議会、学習会等へも多数参加しています(詳細はHPをご覧ください)。

ダンボールを使って 「生ごみリサイクル」

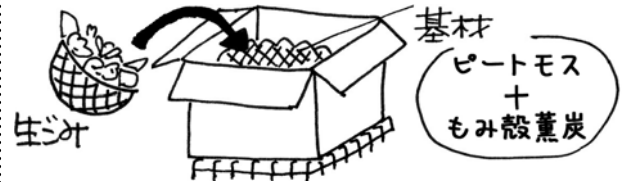
～ダンボールコンポスト講習会～

5月17日(金) 10時半～12時

会場：つくば市市民活動センター

5月22日(水) 13時半～15時

会場：並木交流センター



「ダンボールコンポスト」とはダンボール箱の中に基材を入れ、それに生ごみを加え、毎日まぜるだけで、生ごみが発酵し堆肥になるという簡易生ごみ処理器。生ごみを「ごみ」ではなく、「資源」として有効活用できます。

講習会ではダンボールコンポストの方法やコツをご紹介します。ぜひご参加ください。

お問い合わせ：029-859-0264(市民ネット)

モンサントの

不自然な食べもの 上映会

5月26日(日) 9:45～(受付9:30)

5月31日(金) 10:00～(受付9:45)

サイエンス・インフォメーションセンター大会議室
(つくば市吾妻 1-10-1 ノバホールとなり)

入場無料(当日カンパにご協力ください)
(託児 300円、先着 10名、下記へお申込み下さい)
連絡先: mon526.531@gmail.com TEL: 859-0264

主催:「モンサントの不自然な食べもの」
上映会実行委員会

世界の遺伝子組み換え作物市場の90%を占める「モンサント社」。生物の根幹である「タネ」を支配し、利益ばかりを追求する現在の「食」の裏の姿をカメラが追います。5/31には上映後意見交換会を予定しています。TPP交渉への参加が表明された今、食の安全をどう守るか、ぜひ一緒に考えましょう。

